



一般社団法人 遠赤外線協会

協会の概要

遠赤外線は、加熱・乾燥、暖房、繊維、さらに、医療にまで多岐にわたり用いられる、古くて新しいエネルギーである。当協会は、これらの遠赤外線関連製品・技術に関する調査及び研究、情報の収集及び提供、普及及び啓発、国内外の関係機関などとの交流を行い、遠赤外線関連産業の振興及び消費者の保護の活動をしている日本国内唯一の非営利法人です。

■ 標準化体系の整備（経産省関連の委託調査研究）

【 JIS規格の認定 】 ・ ・ 今後、改定や高機能化に対応

JIS Z 8117 「遠赤外線用語」

JIS R 1801 「FTIRによる分光放射率測定法」

JIS R 1803 「遠赤外ヒータの遠赤外域における分光放射エネルギーの測定方法」

■ 消費者に安心していただける遠赤外商品の普及を願い、平成8年10月「遠赤外線自主認定制度」を発足させました。（2017.10.1 認定数：累計131件）



認定品目：「電気こたつ」「電気暖房器」「石油ストーブ」「電気調理器」「ガス調理器」「直接身に付ける繊維製品（肌着、靴下、タイツ、サポータ等）」及び装身具（ネックレス、ブレスレット等）の7品目

■ 今回出展各社

IHクッキングヒーター「ラクッキングリル」

【ラクッキングリル構成】

遠赤ヒーター 近赤ヒーター 遠赤ヒーター

ふく射熱 伝導熱

遠赤ヒーター 遠赤ヒーター

遠赤外線ヒータと近赤外線ヒータを備えたハイブリッド構成

【ラクッキングリル特徴】

遠赤・近赤効果でおいしく！！

遠赤外線 表面までしっかり加熱

近赤外線 内部を加熱

遠赤外線が内部を加熱

遠赤・近赤効果でおいしく！！

パナソニック(株) アプライアンス社

Noritake 遠赤外線加熱システム

乾燥、硬化、アニール工程に最適なノリタケ遠赤外線ヒータを採用した加熱装置です。遠赤外線加熱の特長を活かし、生産性の向上や省エネルギーに貢献します。

遠赤外線加熱が適用される業界マップ

ガラス基板加熱・搬送技術、RFIC加熱・搬送技術、クリーン加熱技術、真空加熱技術、高速加熱技術、高温加熱技術

装置	用途(代表例)	装置仕様
遠赤外線コンベア炉	自動車用、医療用プラスチック成形品のアニール 電子製品の樹脂硬化 ソルダレジスト後の熱処理 各種塗膜後の乾燥、半乾	使用温度: RT~200°C 温度精度: ±1°C (at 200°C) 雰囲気: 大気、N ₂ (or プラズマ) クランプ: クラス1000 最大加熱幅: 2700×1000
RFIC式遠赤外線加熱炉	半導体シリコンの表面除去 半導体用フィルムの乾燥、硬化処理 太陽電池用シリコン材料のアニール 有機シリコンの熱処理 電圧用フィルム加工後の乾燥	使用温度: RT~400°C 温度精度: ±1°C (at 400°C) (with N ₂) 雰囲気: 大気、N ₂ (O ₂ 濃度 1000ppm以下) クランプ: クラス1000 電圧電力: 5~100W
パナチ式真空乾燥炉	二次電池の原料、水分乾燥 キャピタ線管の原料、水分乾燥	使用温度: RT~200°C 別装置空圧: 1Pa 加熱部: ヒータ・分岐部 チャンセル: 非加熱部、冷却回収機構付

ノリタケテストセンターでは、上記装置を含め合計11種類の加熱装置を設置しております。最適な加熱方式の選定、量産設備の検討にご利用下さい。

熱 をキーワードに各種のニーズにお応えします！
お客様ご希望の温度プロファイルを実現！

① ② ③

QUTヒータを使用したワーク温度制御方式の遠赤外線加熱装置で生産性UP！品質向上！

QUTシリーズに
クリーン仕様追加:
【QUT100B-C】

【メカシステム型遠赤外線ヒータ】 【ワーク温度制御方式遠赤外線加熱装置】 【ワーク温度制御方式遠赤外線加熱ユニット】

お客様の要求仕様にあった最適な遠赤外線装置を設計・製造致します。

TPR 高専株式会社
TPR 電子株式会社



一般社団法人 遠赤外線協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-2-6 ランドマーク芝公園 2F
TEL : 03-3438-4108 URL : <http://www.enseki.or.jp/>

